

- ◎ 基本的な考え方・ねらい・方針など
 1. 学校経営方針に基づき教育課程の編成・計画・運営・調整を行う。
 - ①基礎的・基本的な学力の定着と伸長・発展を図る授業を実践するために、適切な年間指導計画と評価規準を設定し、指導内容と授業の工夫・改善に努める。
 - ②生徒一人一人の個に応じた学習指導の充実を図るために、少人数学習集団による授業や習熟度別授業等により、きめ細かい学習指導の工夫を図る。
 - ③教科の特性に応じた創意工夫を通して主体的・対話的で深い学びを目指した授業実践の充実を図る。
 - ④生徒の興味・関心や言語活動を深めるためにICT機器等を活用した授業実践をすすめ、課題解決的な学習を重視し情報活用能力を高める。
 2. 武蔵野市版授業改善推進プランを作成し、単元ごとの評価方法の精度を高め、指導と評価の一体化をすすめることで信頼性・妥当性がある評価を行う。
 3. 生徒の市民性を高め、地域に開かれた学校づくりを目指すため、地域の人的資源の活用や保護者との連携を図り、保護者や地域からの信頼を高められる学校づくりに努める。
 4. 学籍を中心とした諸帳簿の整理と校務支援ソフトを活用した事務書類の電子データ化の推進を行う。
- ◎ 本年度の計画
 1. 授業時間の確保（出張・休暇等の際の授業交換の基本原則の継続、補教課題の充実）
 2. 必修教科・総合的な学習の時間・特別活動等の計画的指導の実践。（進路学習部との連携）
 3. 信頼性があり妥当性がある評価・評定をするため資料を提供したり、検証の機会を設定したりする。
 4. 全国学力状況調査の分析と武蔵野市版授業改善推進プランの編集と、改善プランを使った授業改善への具体的取り組み。
 5. 教育全体計画の作成・ホームページ公開。
 - ※内容 教育課程（届）
 - 全体計画（道徳・特活・人権・進路指導・総合的な学習）
 - 年間指導計画（必修教科・総合的な学習）
 - 評価規準（必修教科・総合的な学習）
 - その他 分掌方針・計画、学校行事要項・計画 等
 6. 小中合同研修会の開催
 - ※年2回開催し、小中合同研修会は小中の教務部が主催する。
 7. 授業の参観と授業公開 6の日（六中公開日）
 8. 事務処理の適切かつ確実な執行。
 9. 諸表簿の整理、保管期限切れの書類の廃棄。
 10. 「新校務支援ソフト」の活用と事務書類の電子データ化の推進。
 11. 授業参観・保護者会・三者面談の充実（全学年）

